

# マラウイ通信

渡邊拓人 17-2  
行政サービス  
ドーワ県立病院

【マラウイ大統領選挙】マラウイでは2019年5月21日、大統領・国会議員・地方議員の同時選挙が予定されています。日本では昨今、政治不信や、若者の政治への関心の低さから国政選挙における投票率は低下傾向にあります。しかし、マラウイにおいては他国に比べ高い投票率を保っており、5年前に行われた大統領選挙では70.78%という投票率結果でした。（ちなみに世界には90%を超える国も多数あります）マラウイでの選挙に対する人々の熱・関心は高く、家や道端に政党の旗を掲げている光景をよく見かけます。また、有権者に対し立候補者の顔がプリントされたTシャツを無料で配布する政党もあり、農村部ではそのTシャツを着用している人々をよく見かけます。印象として、日本に比べても政治活動は大胆です。大規模な遊説やデモ等も頻繁に起こっており、私達外国人は民衆の騒ぎに十分注意しなければなりません。今後、選挙期日が近づくにつれて選挙活動等がさらに活発化する事が予想されています。したがって、私達にはJICAから対応策が命じられ一定の期間中（状況に応じて判断される）自宅待機となり、外出が一切できなくなります。情報量の少ない中ですが十分な警戒が必要です。



候補者の顔  
写真が大きく  
載った政  
党Tシャツ



【POOREST】マラウイでは自らの事をプアレスト（一番貧しい）と呼び、物や金銭を要求して来る人々がいます。マラウイにしばらく住んでいますが、どうしてもこの言動に慣れる事ができません。道端、職場、至る所で「何かくれ」と、ねだられます。確かに世界の中で最貧国と位置付けられ、国全体として厳しい状況にあるのは事実です。しかし、支援慣れが続き、支援が当たり前になった今では“何ももらえない事”が逆にイレギュラーな事態だと捉えられてしまう環境へとなってしまいました。多くの国がマラウイに対して多彩な支援を行っていますが、それが手助けをしている一方で負の連鎖も招いている事も事実かもしれません。国際協力の正解など私には分かりませんが、今自分にできる“草の根の支援”を頑張ろうと思います。

【スラッシャー】雨期になると草木は育ちます。植物にとっても恵みの雨です。しかし、この時期になると当然雑草もすくすくと育ちます。家や病院の庭、路肩、空地。あっと言う間に、荒れ果てた様子になってしまいます。日本では草刈り機等の機械を使って除草を行いますよね。そのような機械を用いたとしても除草作業は本当に一苦勞な作業です。並大抵な事ではありません。さて、マラウイではどのように草刈りを行うでしょう。ここでの草刈りはスラッシャーという道具を使います。鉄製で約1メートルの剣の様な道具を中腰の体制になってひたすら振り回します。まるでゴルフやテニスのスイングの様でもありますが、地面すれすれを草が刈れるように何度も何度もふりかざします。初めて見た時は、驚きました。考えただけでも途方に暮れる作業です。しかしマラウイには通常、草刈り機などはありませんので、当然のようにこのスラッシャーで草を刈っています。マラウイ人の体力には本当に驚きです。



薄い構造で、  
赤ラインの  
様な角度が  
ついています。



5センチほ  
どの幅です。  
しっかりとグ  
リップ付き。



あとは、ひたすら振  
り続けるのみ。作業  
後は見事にきれい  
な庭になっています。

【後記】先日、走っていると見知らぬ外国人達と出会いました。彼らはモロッコ人とコスタリカ人で、私と同様、ボランティアとして活動をしており、意外にも近所さんでした。歳も同世代なので頻繁に会い楽しく過ごしています。彼らのグループにはスペイン人とイタリア人も含んでおり、先日一緒に昼食を食べた時は、六ヶ国もの人が集まったっており、面白い経験が出来たと思います。それにしては日本人は英語が下手だと感じます。全員にとっても、第一言語でない英語での会話だったのですが、皆上手だなと感じました。